

## 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長崎県

行 事 名 称	「文化財防火デー」に伴う防火訓練【国指定天然記念物：奈良尾のアコウ】
実施期間・日時	平成30年1月28日（日）9：30～11：00
実 施 場 所	長崎県南松浦郡新上五島町奈良尾郷334番地2 奈良尾神社一帯
主 催 者	新上五島町教育委員会・新上五島町消防署・新上五島町消防団

## ■実施内容

## 訓練の想定

出火状況／奈良尾神社社務所で暖をとるために使用していた石油ストーブを誤って転倒させ、漏れた灯油に引火し、消火器で初期消火を試みるが失敗し、火災に至ったもの。延焼状況／当日の強風にあおられ、本殿やアコウ樹周辺への延焼と多量の火の粉の飛散があり、大火への危険性が高まっている。要救助者状況／初期消火中の神社関係者が熱風を吸い込み、気道を熱傷。奈良尾図書館利用者が避難中に、数名が転倒し負傷している。

## 訓練の内容

- ① 通信訓練（防災行政無線及び消防救急デジタル無線等の効果的な活用）
- ② 出動訓練
- ③ 火災防ぎょ訓練（水利部署、ホース延長、筒先部署、給水支援）
- ④ 避難誘導及び飛び火警戒訓練

## 参加者及び役割分担

- ・神社関係者（3名）119番通報、初期消火
- ・奈良尾地区住民（38名）初期消火、避難者の誘導、参拝者の誘導、消火器訓練
- ・消防団（32名）放水訓練、給水訓練
- ・消防署（20名）全体統括、放水訓練、救出訓練、要救助者の医療機関搬送
- ・新上五島町教育委員会・消防防災室・奈良尾支所（5名）：現場立会い、講評

## 特に工夫した点

- ・放水にあたっては建造物に直接あたらないように注意する。
- ・要救助者の避難訓練についても実際に救護対象者を配置し、より実践に近い訓練を行なう。

## 問題点・課題

- ・住宅密集地で道路幅員が車両1台しか通れないため、路地への進入車両が制限される。
- ・水利がやや離れたバス路線側にあることから、ホース延長に時間を要する。
- ・今回は、水利を防火水槽以外に町民プールとしたが、やや距離があることから実際の火災に役立てられるか疑問が残る。

## その他

これまで、必要性を感じながらもアコウ樹を題材にしての訓練を実施できていなかった。今回の訓練が今後の役に立つよう、後日、消防署と消防団がさらに踏み込んだ想定を行い、実践で役立つマニュアル整備に努める。

## 訓練風景



▲火元である社務所への放水



▲救出者の搬送



▲給水訓練